

## 感染症患者発生情報（週報）

埼玉県内情報 2024 年 第 13 週（3 月 25 日～3 月 31 日）

## ＜全数把握対象疾患の患者情報＞

一類及び二類（結核を除く）感染症	報告なし
三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症	3 人 類型 患者 2 人、 無症状病原体保有者 1 人 血清型 O157 1 人、O26 1 人、 不明 1 人
腸チフス	1 人 推定感染地域 国外
四類感染症 E 型肝炎	1 人 推定感染地域 国内
レジオネラ症	1 人 病型 肺炎型
五類感染症 ウイルス性肝炎	1 人 病型 B 型
侵襲性肺炎球菌感染症	7 人
梅毒	4 人 病型 早期顕症 I 期 4 人
百日咳	1 人 年齢階級 1 歳

## ＜新型コロナウイルス感染症発生状況＞

新型コロナウイルス感染症(5.80→5.00: 図 1) の定点当たり報告数は、第 9 週以降、緩やかな減少傾向にある。保健所別では、幸手 (9.00)、春日部 (7.80)、草加 (7.00)、鴻巣 (7.00) 保健所管内からの報告が多い。基幹定点における入院患者の報告は 41 人（前週 60 人）であった。年齢階級別では、70 歳以上が全体の約 85%であった。

## ＜定点把握対象疾患の患者情報＞

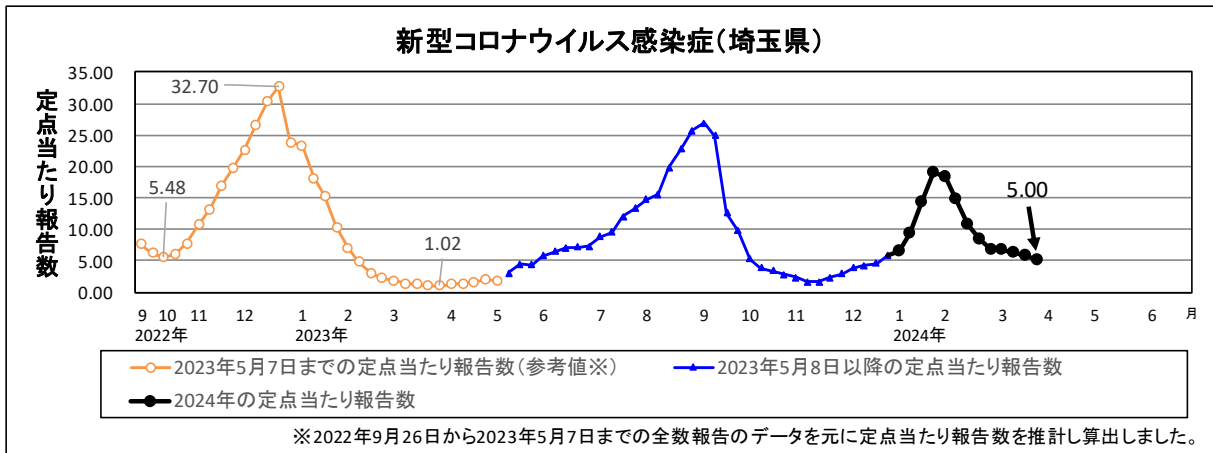
インフルエンザ (17.51→14.18: 図 2-1～3) の定点当たり報告数は、前週に引き続き減少したが、依然として多い状況が続いている。保健所別では、幸手 (24.29)、鴻巣 (22.58) 保健所管内からの報告が多い。年齢階級別では、6 歳の報告が最も多く、次に 9 歳からの報告が多い。RS ウイルス感染症(0.63→1.25: 図 3) の定点当たり報告数は、前週と比較して大きく増加し、過去 4 年と比較しても早い時期での流行が懸念される。保健所別では、南部 (3.20→5.20)、鴻巣 (1.17→3.92) 保健所管内で大きく増加した。年齢階級別では 1 歳以下の報告が多く、全体の 58%であった。A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (4.17→3.94: 図 4) の定点当たり報告数は、前週と比較してわずかに減少したものの、多い状況が続いている。保健所別では、春日部 (9.67→14.50) 保健所管内で大きく増加し、幸手 (8.56)、南部 (8.40) 保健所管内からの報告が引き続き多い。眼科定点報告疾患では、急性出血性結膜炎 3 人、流行性角結膜炎 23 人の報告があった。基幹定点報告疾患では、インフルエンザ（入院）7 人（前週 7 人）の報告があった。

※ 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ

(URL: <http://www.niid.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>) で御覧になれます。

<新型コロナウイルス感染症発生状況（第13週）－小児科定点・内科定点からの報告－>

図1 新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数の推移



<インフルエンザ流行情報（第13週）－小児科定点・内科定点からの報告－>

図2-1 インフルエンザの定点当たり報告数の推移

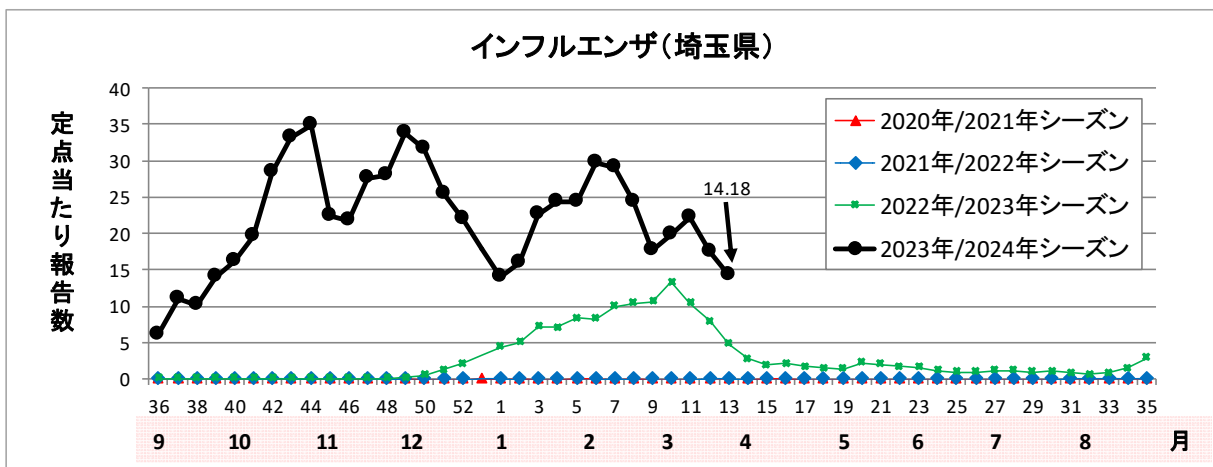


図2-2 インフルエンザの保健所別流行状況の推移（2024年第11週～第13週）

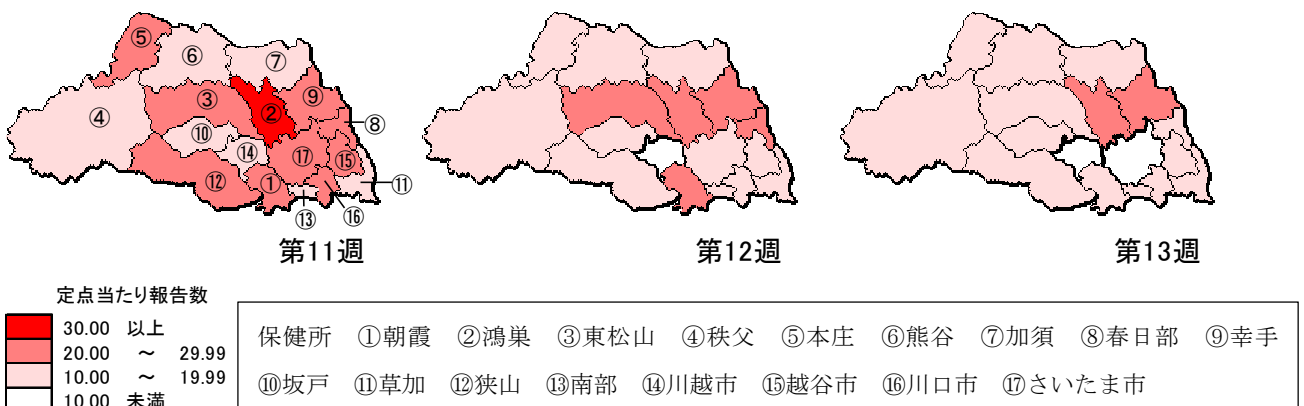
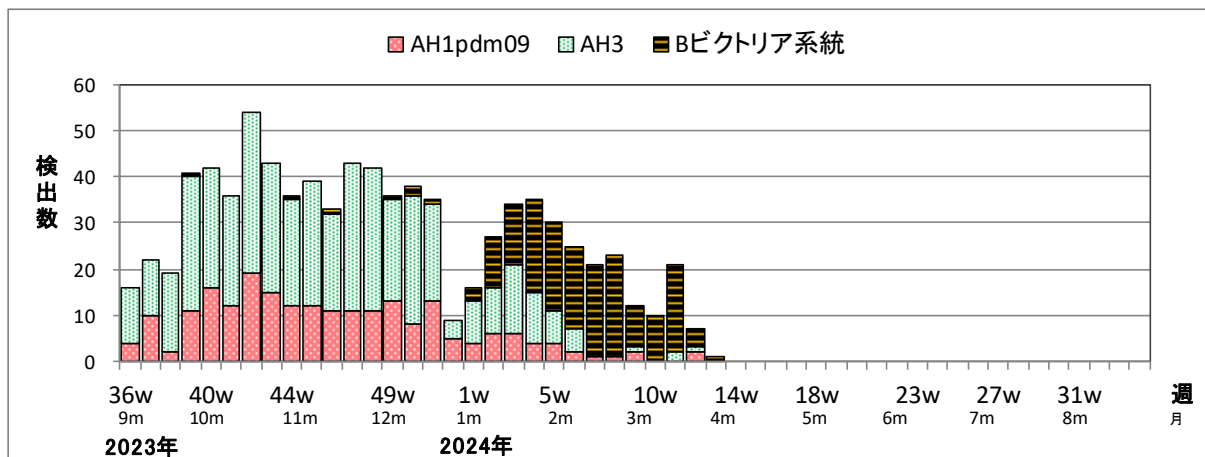


図 2-3 インフルエンザウイルスの週別検出状況



2024年第10週～第12週（2024年3月4日～3月24日）の3週間に採取されたインフルエンザ検体のうちウイルスの型別の終了した38検体は、B型（ビクトリア系統）33件（86.8%）、AH3型が3件（7.9%）、AH1pdm09型が2件（5.3%）でした。

詳細なウイルスの検出状況は、<https://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/srv-flu.html> をご覧ください。

<今週の注目される定点把握対象疾患の推移>

図 3 RSウイルス感染症の定点当たり報告数の推移

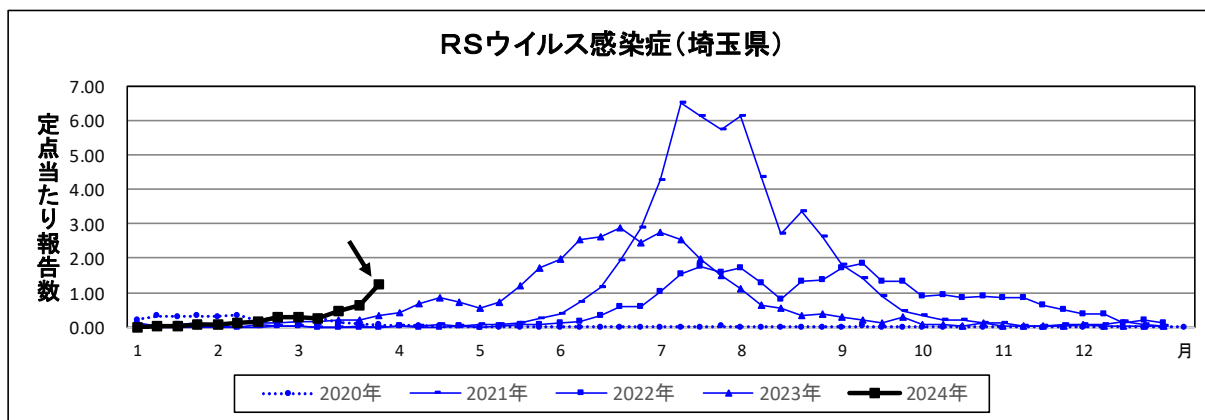
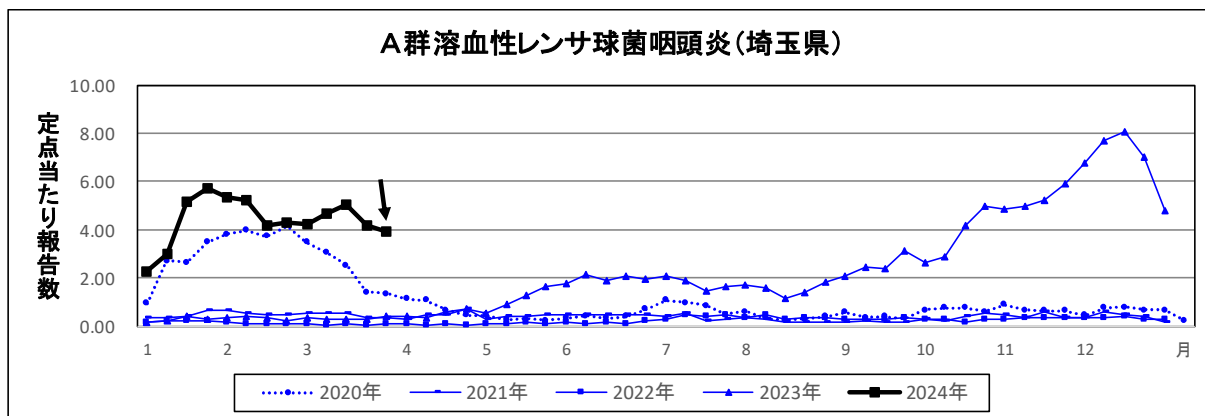


図 4 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数の推移



感染症発生状況(全数把握対象疾患)  
(第13週)

(2024年4月2日 15:30集計)

	今週 届出	累 計	2023年 累計		今週 届出	累 計	2023年 累計
<b>一類感染症</b>							
エボラ出血熱				ペスト			
クリミア・コンゴ出血熱				マールブルグ病			
痘そう				ラッサ熱			
南米出血熱							
<b>二類感染症</b>							
急性灰白髄炎				中東呼吸器症候群(MERS)			
結核*1	-	-		鳥インフルエンザ(H5N1)			
ジフテリア				鳥インフルエンザ(H7N9)			
重症急性呼吸器症候群(SARS)							
<b>三類感染症</b>							
コレラ				腸チフス	1	1	3
細菌性赤痢			9	パラチフス			1
腸管出血性大腸菌感染症	3	27	167				
<b>四類感染症</b>							
E型肝炎	1	11	43	東部ウマ脳炎			
ウエストナイル熱				鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)			
A型肝炎		2	3	ニパウイルス感染症			
エキノкокクス症				日本紅斑熱		1	
エムポックス			5	日本脳炎			
黄熱				ハンタウイルス肺症候群			
オウム病			1	Bウイルス病			
オムスク出血熱				鼻疽			
回帰熱				ブルセラ症			
キャサヌル森林病				ベネズエラウマ脳炎			
Q熱				ヘンドラウイルス感染症			
狂犬病				発しんチフス			
コクシジオイデス症				ポツリヌス症			
ジカウイルス感染症				マラリア			2
重症熱性血小板減少症候群				野兔病			
腎症候性出血熱				ライム病			1
西部ウマ脳炎				リッサウイルス感染症			
ダニ媒介脳炎				リフトバレー熱			
炭疽				類鼻疽			
チクングニア熱				レジオネラ症	1	19	112
つつが虫病			3	レプトスピラ症			
デング熱		2	9	ロッキー山紅斑熱			
<b>五類感染症</b>							
アメーバ赤痢		7	28	侵襲性肺炎球菌感染症	7	27	80
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)	1	4	7	水痘(入院例に限る)			13
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症		19	71	先天性風しん症候群			
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)			6	梅毒	4	103	462
急性脳炎		9	39	播種性クリプトкокクス症		2	7
クリプトスポリジウム症				破傷風		1	4
クロイツフェルト・ヤコブ病		1	8	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症			
劇症型溶血性レンサ球菌感染症		42	64	バンコマイシン耐性腸球菌感染症			2
後天性免疫不全症候群		6	32	百日咳	1	12	79
ジアルジア症			3	風しん		1	1
侵襲性インフルエンザ <sup>a</sup> 菌感染症		4	9	麻しん			
侵襲性髄膜炎菌感染症			2	薬剤耐性アシネトバクター感染症			1

累計は診断日で集計

\*1 結核は月単位で集計、別に掲載します。

感染症発生状況(定点把握対象疾患)

報告患者数

保健所別

(2024年第13週

3月25日~3月31日)

保健所	報告数 定点当たり	インフルエンザ	新型コロナウイルス感染症	R Sウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 #2	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 #3	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	インフルエンザ (入院)	新型コロナウイルス感染症 (入院)
		#1	感染症	感染症																		
全 県	報告数 3,686	1,301	204	57	642	761	39	9	8	38	1	6	3	23	-	-	-	-	-	-	7	41
	14.18	5.00	1.25	0.35	3.94	4.67	0.24	0.06	0.05	0.23	0.01	0.04	0.07	0.55	-	-	-	-	-	-	0.58	3.42
朝 霞	報告数 362	101	11	-	60	62	4	-	1	4	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-
	15.74	4.39	0.73	-	4.00	4.13	0.27	-	0.07	0.27	-	-	-	1.50	-	-	-	-	-	-	-	-
鴻 巣	報告数 429	133	47	4	30	38	1	-	-	5	-	-	-	1	*	*	*	*	*	*	*	*
	22.58	7.00	3.92	0.33	2.50	3.17	0.08	-	-	0.42	-	-	-	0.33	*	*	*	*	*	*	*	*
東 松 山	報告数 154	28	-	2	28	56	1	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	19.25	3.50	-	0.40	5.60	11.20	0.20	0.20	-	-	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00
秩 父	報告数 76	14	-	-	18	1	1	-	-	-	-	-	*	*	-	-	-	-	-	-	-	3
	15.20	2.80	-	-	6.00	0.33	0.33	-	-	-	-	-	*	*	-	-	-	-	-	-	-	3.00
本 庄	報告数 84	24	1	-	4	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
	12.00	3.43	0.25	-	1.00	0.25	0.25	-	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7.00
熊 谷	報告数 185	78	7	3	33	36	1	2	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
	14.23	6.00	0.88	0.38	4.13	4.50	0.13	0.25	-	0.13	-	0.13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.00
加 須	報告数 153	33	3	-	7	1	2	-	-	1	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1
	15.30	3.30	0.50	-	1.17	0.17	0.33	-	-	0.17	-	0.17	-	2.00	-	-	-	-	-	-	-	1.00
春 日 部	報告数 192	78	1	5	87	71	1	-	-	1	-	1	-	1	*	*	*	*	*	*	*	*
	19.20	7.80	0.17	0.83	14.50	11.83	0.17	-	-	0.17	-	0.17	-	1.00	*	*	*	*	*	*	*	*
幸 手	報告数 340	126	15	14	77	22	3	-	-	-	-	1	-	2	*	*	*	*	*	*	*	*
	24.29	9.00	1.67	1.56	8.56	2.44	0.33	-	-	-	-	0.11	-	1.00	*	*	*	*	*	*	*	*
坂 戸	報告数 116	60	5	1	9	37	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
	11.60	6.00	0.83	0.17	1.50	6.17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.00
草 加	報告数 277	133	10	2	41	53	-	-	-	2	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*	*
	14.58	7.00	0.83	0.17	3.42	4.42	-	-	-	0.17	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*	*
狭 山	報告数 316	131	11	9	76	48	9	1	-	2	-	1	2	1	-	-	-	-	-	-	-	2
	12.64	5.24	0.69	0.56	4.75	3.00	0.56	0.06	-	0.13	-	0.06	0.40	0.20	-	-	-	-	-	-	-	2.00
南 部	報告数 113	50	26	7	42	39	1	1	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
	14.13	6.25	5.20	1.40	8.40	7.80	0.20	0.20	0.20	0.80	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8.00
川 越 市	報告数 101	41	4	-	27	16	2	-	-	2	-	-	-	1	*	*	*	*	*	*	*	*
	7.21	2.93	0.50	-	3.38	2.00	0.25	-	-	0.25	-	-	-	0.50	*	*	*	*	*	*	*	*
越 谷 市	報告数 173	79	2	4	8	48	1	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
	13.31	6.08	0.25	0.50	1.00	6.00	0.13	0.13	-	0.38	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00
川 口 市	報告数 218	80	23	2	42	87	5	2	2	3	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	3
	10.90	4.00	1.77	0.15	3.23	6.69	0.38	0.15	0.15	0.23	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	1.00
さいたま市	報告数 397	112	38	4	53	145	6	1	3	10	-	1	1	5	-	-	-	-	-	-	-	4
	9.45	2.67	1.41	0.15	1.96	5.37	0.22	0.04	0.11	0.37	-	0.04	0.11	0.56	-	-	-	-	-	-	-	2.00

( - : 0.00 )

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

4月

2日

13:30 集計

感染症発生状況(定点把握対象疾患)

報告患者数

年齢別

(2024年第13週 3月25日~3月31日)

	合計	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80~
インフルエンザ #1	3,686	7	30	93	100	116	121	200	281	233	259	279	1,089	266	146	213	166	43	23	15	6
新型コロナウイルス感染症	1,301	11	33	40	29	19	25	14	24	19	15	11	77	65	144	133	163	149	112	116	102
	合計	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20~						
RSウイルス感染症	204	33	33	52	43	22	10	5	3	1	2	-	-	-	-						
咽頭結膜熱	57	-	1	4	11	7	9	5	6	6	2	1	1	-	4						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	642	-	3	15	41	47	74	75	95	51	57	55	92	7	30						
感染性胃腸炎	761	3	31	84	88	75	63	67	64	42	46	24	91	14	69						
水痘	39	-	1	5	1	2	1	3	2	2	4	1	16	-	1						
手足口病	9	-	-	5	1	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-						
伝染性紅斑	8	-	-	-	-	-	4	4	-	-	-	-	-	-	-						
突発性発しん	38	1	6	17	10	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-						
ヘルパンギーナ	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-						
流行性耳下腺炎	6	-	-	-	-	2	-	1	1	1	-	-	-	1	-						
	合計	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70~	
急性出血性結膜炎	3	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	23	-	1	-	-	2	-	-	-	1	1	1	1	-	2	7	3	2	2	-	
	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70~				
細菌性髄膜炎 #2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
ロタウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
インフルエンザ(入院)	7	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2				
新型コロナウイルス感染症(入院)	41	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	2	1	-	35				

※ 表中の数値は各定点からの報告数( - : 0 )

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

# 全国・関東情報

第11週 (3月11日～3月17日)

令和6年4月3日

## <全国情報>

**インフルエンザ／COVID-19定点報告疾患:**インフルエンザの定点当たり報告数は2週連続で増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は新潟県(38.00)、石川県(36.69)、北海道(33.66)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は345例と前週と比較して増加した。都道府県別では45都道府県から報告があり、年齢別では0歳(15例)、1～9歳(173例)、10代(48例)、20代(5例)、30代(13例)、40代(12例)、50代(5例)、60代(13例)、70代(23例)、80歳以上(38例)であった。新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数は第6週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は宮城県(11.96)、新潟県(11.36)、岩手県(11.28)である。基幹定点からの新型コロナウイルス感染症入院サーベイランスにおける報告数は2,122例と前週と比較して減少した。都道府県別では47都道府県から報告があり、年齢別では0歳(54例)、1～9歳(70例)、10代(26例)、20代(37例)、30代(26例)、40代(53例)、50代(93例)、60代(208例)、70代(499例)、80歳以上(1,056例)であった。

**小児科定点報告疾患(主なもの):**RSウイルス感染症の定点当たり報告数は第2週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は大阪府(1.84)、奈良県(1.15)、北海道(1.11)である。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は2週連続で減少したが、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は鹿児島県(3.45)、新潟県(2.82)、富山県(2.66)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は3週連続で増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は北海道(10.82)、山形県(9.50)、富山県(8.24)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は富山県(12.59)、石川県(10.21)、愛媛県(9.57)である。手足口病の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は福井県(1.68)、徳島県(0.91)、鹿児島県(0.86)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は香川県(0.14)、高知県(0.12)、東京都(0.07)、富山県(0.07)である。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は徳島県(0.22)、島根県(0.17)、愛媛県(0.14)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は群馬県(0.08)、石川県(0.07)、長野県(0.06)、静岡県(0.06)である。

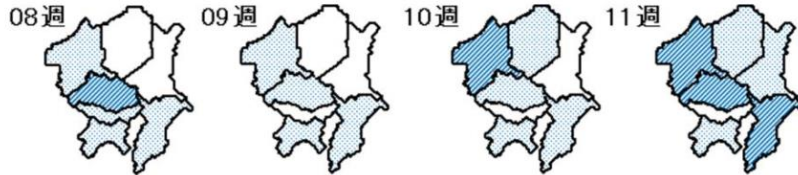
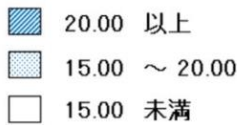
**基幹定点報告疾患:**マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は沖縄県(1.00)、福井県(0.83)、青森県(0.50)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は3週連続で増加した。7都道府県から7例報告があり、年齢別では1～4歳(4例)、5～9歳(3例)であった。

Infectious Diseases Weekly Report Japan 2024年 第11週(3月11日～3月17日):通巻第26巻 第11号より

## <関東情報>

インフルエンザの定点当たり報告数は、群馬県(25.83)、千葉県(23.06)、埼玉県(22.21)からの報告が多い。

### インフルエンザ



2024年 11週

	全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	
インフルエンザ #1	報告数	85,162	28,526	1,912	1,371	2,170	5,796	4,659	5,847	6,771
	定点当たり	17.26	18.74	15.93	18.04	25.83	22.21	23.06	14.09	18.60
新型コロナウイルス感染症	報告数	30,316	8,291	945	561	579	1,635	1,415	1,537	1,619
	定点当たり	6.15	5.45	7.88	7.38	6.89	6.26	7.00	3.70	4.45
RSウイルス感染症	報告数	1,491	373	25	21	31	74	20	120	82
	定点当たり	0.48	0.39	0.33	0.44	0.58	0.45	0.16	0.46	0.36
咽頭結膜熱	報告数	2,593	416	46	20	43	98	70	64	75
	定点当たり	0.83	0.44	0.61	0.42	0.81	0.60	0.56	0.24	0.33
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	14,055	4,150	450	154	235	837	774	914	786
	定点当たり	4.48	4.34	6.00	3.21	4.43	5.10	6.19	3.49	3.43
感染性胃腸炎	報告数	16,677	4,470	315	91	259	925	642	1,395	843
	定点当たり	5.32	4.68	4.20	1.90	4.89	5.64	5.14	5.32	3.68
水痘	報告数	433	146	5	3	4	37	27	48	22
	定点当たり	0.14	0.15	0.07	0.06	0.08	0.23	0.22	0.18	0.10
手足口病	報告数	652	75	2	13	21	13	7	8	11
	定点当たり	0.21	0.08	0.03	0.27	0.40	0.08	0.06	0.03	0.05
伝染性紅斑	報告数	63	33	-	1	-	2	4	18	8
	定点当たり	0.02	0.03	-	0.02	-	0.01	0.03	0.07	0.03
突発性発しん	報告数	702	205	7	13	11	42	23	64	45
	定点当たり	0.22	0.21	0.09	0.27	0.21	0.26	0.18	0.24	0.20
ヘルパンギーナ	報告数	63	8	1	-	2	-	-	3	2
	定点当たり	0.02	0.01	0.01	-	0.04	-	-	0.01	0.01
流行性耳下腺炎	報告数	79	32	1	-	4	6	4	13	4
	定点当たり	0.03	0.03	0.01	-	0.08	0.04	0.03	0.05	0.02
急性出血性結膜炎	報告数	6	2	-	-	-	2	-	-	-
	定点当たり	0.01	0.01	-	-	-	0.05	-	-	-
流行性角結膜炎	報告数	265	89	14	1	5	9	10	12	38
	定点当たり	0.38	0.43	0.82	0.08	0.36	0.21	0.29	0.31	0.76
細菌性髄膜炎 #2	報告数	13	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.03	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	報告数	15	6	2	-	-	2	-	2	-
	定点当たり	0.03	0.07	0.15	-	-	0.17	-	0.08	-
マイコプラズマ肺炎	報告数	50	9	5	1	1	-	-	1	1
	定点当たり	0.10	0.10	0.38	0.14	0.11	-	-	0.04	0.08
クラミジア肺炎 #3	報告数	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.00	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	7	1	-	-	-	-	-	1	-
	定点当たり	0.01	0.01	-	-	-	-	-	0.04	-

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-0.00)

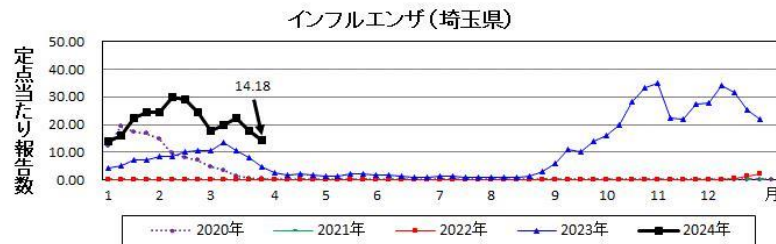
- 感染症発生動向調査 2024年**
- ▶ [感染症の流行状況 2024年 第1週](#)
  - ▶ [感染症の流行状況 2024年 第2週](#)
  - ▶ [感染症の流行状況 2024年 第3週](#)
  - ▶ [感染症の流行状況 2024年 第4週](#)
  - ▶ [感染症の流行状況 2024年 第5週](#)
  - ▶ [感染症の流行状況 2024年 第6週](#)
  - ▶ [感染症の流行状況 2024年 第7週](#)
  - ▶ [感染症の流行状況 2024年 第8週](#)
  - ▶ [感染症の流行状況 2024年 第9週](#)
  - ▶ [感染症の流行状況 2024年 第10週](#)
  - ▶ [感染症の流行状況 2024年 第11週](#)
  - ▶ [感染症の流行状況 2024年 第12週](#)

## 感染症の流行状況 2024年 第13週

2024年第13週（3月25日～3月31日）の要点

[インフルエンザ](#)の定点当たり報告数は、前週に引き続き減少したものの、多い状況が続いています。

[咳エチケット](#)、外出後の手洗いとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、お子さんの体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早めに受診してください。



### 感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
<a href="#">インフルエンザ</a>	↓	★★	<a href="#">手足口病</a>	→	★
<a href="#">新型コロナウイルス感染症</a>	↓	—	<a href="#">伝染性紅斑(りんご病)</a>	→	★
<a href="#">RSウイルス感染症</a>	↑	★★	<a href="#">突発性発しん</a>	→	★
<a href="#">咽頭結膜熱(プール熱)</a>	↓	★	<a href="#">ヘルパンギーナ</a>	→	★
<a href="#">A群溶血性レンサ球菌咽頭炎</a>	↓	★★	<a href="#">流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)</a>	→	★
<a href="#">感染性胃腸炎</a>	→	★	<a href="#">急性出血性結膜炎</a>	→	★
<a href="#">水痘(みずぼうそう)</a>	→	★	<a href="#">流行性角結膜炎</a>	→	★

\*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。\*2.推移は2週間前からの傾向を示します。(→:増減無し、↑:増加、↓:減少) \*3.流行状況は今週の流行を示します。(小さい→★、★★、★★★→大きい)

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](#)」でご覧になれます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。



埼玉県のマスコット コバトン